

令和3年度行政評価結果一覧

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

1 未来を担う人と文化を育むまち

(1) 輝く子どもを育むまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

① 学びの環境の充実

取り組み事項	学校教育施設を整備する		施策の総合評価	B	課題 方向性	引き続き安全で安心な教育環境の確保が求められる。				
			担当部	教育委員会						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校管理事業、中学校管理事業、幼稚園管理事業、小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業、学校教育施設整備基金事業、こども学習センター管理事業、教育委員会費事務経費、事務局費事務経費									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	教育の機会均等を確保する		施策の総合評価	A	課題 方向性	就学が困難な子どもたちに適切な支援を行うことで、誰もが等しく学べる機会が確保できているため、引き続き施策を実施していく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市奨学金 事業	管理課	814,386	735,000	1,549,386	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	修学意欲と能力があるにも関わらず経済的理由により修学が困難な子どもに対して、教育の機会均等を確保するために継続していく。
小学校通学費 補助事業	管理課	515,778	310,190	825,968	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
中学校通学費 補助関係事業	管理課	407,193	120,000	527,193	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校特別支援教育就学奨励事業、中学校特別支援教育就学奨励事業、小学校要・準要保護児童就学援助事業、中学校要・準要保護生徒就学援助事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。 引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
放課後児童保 育事業	生涯学習課	29,144,494	17,431,136	46,575,630	A	共働き家庭などの増加に伴い、放課後保育事業に対するニーズは増加している。保護者が安心して働きながら、子育てと仕事の両立が図れるよう、学校と連携して現在の受入れ体制を今後も続け、放課後保育サービスの充実を図っていく。	B	家庭を取り巻く社会状況が変化しており、放課後の子どもの居場所づくりが重要となっています。保護者が安心して働きながら、子育てと仕事の両立が図れるよう、放課後保育サービスの充実を実現していく。
学校支援地域 本部事業	生涯学習課	1,145,912	222,800	1,368,712	C	学校の教育活動や学校の環境整備など、地域人材の重要性が高まっている。地域と学校が連携していくために、綿密な打合せや日程調整等が課題となってくるが、今後より必要になる。	A	地域の子どもは地域で守り育てるという意識をもって、今後も事業の拡大をする必要があると思われる。
預かり保育事 業	管理課	10,950,025	504,440	11,454,465	B	教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。	B	多様化する保護者ニーズの把握に努め、事業改善のポイントについて研究しながら事業を継続していく。
相生っ子学び 塾事業	生涯学習課	2,959,109	1,747,474	4,706,583	C	コロナ禍において中止を余儀なくされ、参加児童の数が減ってしまった。児童のニーズに合った事業の実施と適切な講師の確保が課題であるが、誰もが等しく学べる機会の確保のため、今後も継続した取り組みが必要である。	B	子どもの将来性を育むためにも事業を拡大する必要がある

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。 引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年育成補助金事業	生涯学習課	271,462	155,000	426,462	C	子ども会やPTA活動を支援するため、必要不可欠であるが、保護者の意識の変化など、課題に対応しながら事業を進めていく必要がある。	B	子どもに対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。
青少年育成事業	生涯学習課	2,231,761	620,000	2,851,761	C	コロナ禍によって、須崎市との交流を行うことができなかった。令和4年度は実施に向けて柔軟な対応をしていく。また、成人式において、成人になった自覚と責任を醸成し、同郷の仲間達と一緒に祝うことができた。今後は成人年齢の引下げに伴い、これまでの成人式を見直ししながら進めていく必要がある。	B	子どもたちが、日常生活と違った文化を学習し、「須崎市の生活や文化に触れる体験」をさせ、異文化交流を体験することで、自分達が育った郷土に対する理解と関心を深め、郷土を愛する心を育てることが期待できる。
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	2,938,581	705,720	3,644,301	C	子どもの放課後対策として、安全で健やかな居場所作りを推進するとともに、遊びを通して、地域住民との交流活動となっている。今後より一層、地域と学校・公民館等が連携し、地域の教育力を活かした活動を進めていく。	C	少子化や核家族化が進展し、子どもが世代を超えてふれあう機会が減少しているなど、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化と教育力の向上は必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②知・徳・体の調和のとれた人材の育成

取り組み事項	確かな学力を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、工夫をしながら事業を進めることができた。今後はコロナ禍での円滑な事業の継続方法を検討しながら、児童・生徒の学力の状況を把握・分析し、学力の定着、英語学習の充実を図る取組みを継続する。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
外国人英語指導助手招致事業	学校教育課	2,281,749	2,002,641	4,284,390	B	生きた英語に触れることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、ALTの配置が遅れた。ALTとコミュニケーションをとる中で、意欲的に英語を用い、異文化に対する理解を深めることで、学習意欲へとつながっている。
ぐんぐん学力アップ事業	学校教育課	1,151,406	858,780	2,010,186	B	児童生徒の学力を分析し、課題を把握することにより授業改善に活かし、学力向上につなげているため、継続して実施する。	B	標準学力検査結果により把握した学力の状況把握、分析による効果的な学習計画を図ることで、効果があった。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。
英語教育推進事業	学校教育課	950,117	6,433,350	7,383,467	B	幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。	C	幼児期から、外国語活動や外国語に触れ合う機会や使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場を提供できている。しかし、英語検定試験の実施方法に改善の必要があるため、見直しの上、事業継続していく。
小学校外国語教育推進事業	学校教育課	2,318,694	16,480,200	18,798,894	B	園児・児童の語学力やコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。	B	小学校低学年の時期から、外国語活動や外国語を通じた実践的なコミュニケーションをとる機会があることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることができている。
構成事務事業名 (評価対象外)	指定教育等研究研修事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	学校教育においては、子ども達の発達段階に応じて継続した取組みが今後も必要である。また、生涯にわたり学習する基礎を培うために、地域の教育力を得ながら、子どもたちの豊かな心の育成に引き続き取り組んでいく。		
	担当部	教育委員会						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
小学校体験活動事業	学校教育課	814,386	6,970,000	7,784,386	B	集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要なため、継続して実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小などありながらも事業は実施できた。今後もコロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討しながら、実施していきたい。
心豊かな体験活動推進事業	学校教育課	814,386	1,797,680	2,612,066	B	トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通じて、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加事業所が減少し、希望職種を体験できなかった生徒がいたため、目標値の達成ができなかった。今後はコロナ禍での効果的な実施方法を検討し、事業所の確保を確実にしながら、事業を継続していき、様々な社会体験の機会をつくっていく。
創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課	950,117	2,005,000	2,955,117	B	校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効と考えられるので継続する。ただし、平成26年から事業を開始し、平成29年の見直しから5年を経過した中で、ICTの活用など多様化するニーズに対応できるよう、より有効な進め方を検討していく必要がある。	B	身近な市内学校間での合同授業や体験活動、Web会議システムを活用した交流など「多様な学びの場の創造」や、地域の伝統文化等を継承・発展させるため、世代を超えた地域での交流を図るなどの「ふるさと教育の推進」を行い、創造工夫された体系的な教育活動の推進と、ふるさとを愛し次代を担う人材の育成に貢献した。
芸術文化活動振興事業	学校教育課	135,731	0	135,731	B	令和3年度対象者がいなかったが、児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るために、継続して実施する。	C	事業の周知の徹底及び体制について整備を万全に行っているが、対象者がいないため、事業の実施方法を検討し、継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	学校教育においては、子ども達の発達段階に応じて継続した取組みが今後も必要である。また、生涯にわたり学習する基礎を培うために、地域の教育力を得ながら、子どもたちの豊かな心の育成に引き続き取り組んでいく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権教育事業	人権教育推進室	12,170,014	2,233,583	14,403,597	B	教職員に向けた人権教育の実践についての研修機会の充実や子どもの発達段階と取り巻く状況に対応した取組みの継続に努める。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの実施ができない事業もあったが、内容を変更したり代替えの取組みを実施することで、概ね予定通り進捗している。学校園の人権教育の推進に向け、情報発信、指導助言、研修の場の設定など教職員への支援を充実させる。人権教育を核にした道徳教育の系統的な推進に向け、研修を充実させる。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	健やかな体を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	給食を無料で提供し、「生きた教材」として活用することで、食育の推進を図り、望ましい食生活や食文化に対する知識を高めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、円滑に事業を進めるため、工夫をしながら、子どもたちの健康な体づくりに取り組んでいる。今後も、引き続き目標達成に向けて取組みを進める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
学校給食運営事業	学校教育課	98,954,301	118,373,635	217,327,936	B	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することで、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。	B	多くの地場産物を給食に取り入れることにより、食育の推進を図り、献立でわかりやすく表示したり、「給食だより」で特集を組むことで、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、物資単価の高騰があるが、安定した給食を実施できるよう努力していく。
クラブ活動運営事業	学校教育課	950,117	1,890,600	2,840,717	B	部活動を通して、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図り、部活動指導員を配置し、顧問の負担軽減と指導の充実を図る事ができているが、今後クラブ活動の地域移行に関する検討が必要である。	B	部活動加入率について、少子化により部員数の減少が続く中で、適正かつ持続可能な運営体制について検討し、安定した部活動運営を実現するために、専門的な知識・技能を有する外部人材を継続的に確保する必要がある。
学校体育振興事業	学校教育課	1,794,076	3,919,023	5,713,099	B	学校における児童生徒の体力・運動能力向上のために、校内マラソン大会や泳力検定、運動部活動の体育大会への参加等の取組みを行っており、継続した事業実施が必要である。	B	中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加への支援により、運動のしやすい環境づくりを行っており、子どもたちの体力向上を図れている。
構成事務事業名 (評価対象外)	児童・生徒等健康管理事業、学校健康センター事業、感染症対策事業							



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かすことにより、分かる授業や子ども一人ひとりの持ち味を活かす教育の推進を図った。今後はコロナ禍での効果的な方法を検討しながら、引き続き目標達成に向けて取組みを続ける。		
			A	担当部			教育委員会	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
適応教室事業	学校教育課	5,039,040	230,787	5,269,827	B	不登校対策の施設として適応教室「コスモス教室」が、個々の実態に即した学校生活への適応支援を行っており、学校への復帰や社会的自立に向けて本事業が必要であるため、継続して実施する。	B	一人ひとりの特性や家庭環境を考慮し、学校への復帰、社会的な自立に向けて適切な支援を行うことが必要であり、子どもや保護者からの相談を受け、日々の学習やふれあいの教室への参加により自己肯定感を高め学校復帰、社会的自立を図っている。
相生っかがが やき顕彰事業	学校教育課	285,035	4,563	289,598	B	権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に相生っかががやき顕彰を贈呈することで、児童生徒のスポーツや文化芸術に親しむ心の向上を図っており、継続した事業実施が必要である。	C	表彰対象者の把握のため、学校や他課との連携の方法を検討しながら、事業を継続していく。
教育研究所運 営事業	学校教育課	2,523,638	992,980	3,516,618	B	教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かしており、学びを支える体制の充実を図っている。	B	研修の受講内容や研究部会での内容を、日々の授業に活用することができている。コロナ禍での開催になるので、十分な対策をした上で、オンラインも活用し、今後も研修や研究部会を実施していく。
相生市小中一 貫教育推進事 業	学校教育課	1,221,580	0	1,221,580	B	令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、研究会等は中止となったが、幼小中が一貫性を持った教育を推進するためには本事業は必要である。	C	新型コロナウイルス感染症のため、視察は中止となったが、中学校区の連携は進める事ができた。教育課題に適切に対応し、充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校まで12年間を見通した体系的な取り組みは必要であるため、改善方法を検討しながら、継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かすことにより、分かる授業や子ども一人ひとりの持ち味を活かす教育の推進を図った。今後はコロナ禍での効果的な方法を検討しながら、引き続き目標達成に向けて取組みを続ける。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年健全育成活動事業	学校教育課	4,716,671	3,976,098	8,692,769	B	青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子どもの見守りを行うことで、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する。	B	コロナ禍でも補導活動を行い、補導委員についても幅広い地域や分野の委員を選任しており、青少年の健全育成に努めている。
構成事務事業名 (評価対象外)	教育振興費事務経費、教育振興費事務経費、教育統計調査事業、教育指導費事務経費、教育振興費事務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)誰もが楽しく学べるまちづくり  
 ①社会教育環境の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルスの拡大状況も少しずつ緩和され始めているので、国や県、市の対処方針を鑑みながら、事業の拡大をいかに 図っていくかが課題である。		
	担当部	教育委員会						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化振興補助 金事業	生涯学習課	610,790	622,000	1,232,790	B	引き続き、市民の自主的な文化活動を支援するために、相生市文化協会への運営補助を行い、団体の安定的な活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。	A	事業の効果もあり、加入団体数は増えている。しかし、各団体の会員数が減少傾向となっているため、今後も事業を拡大できるよう努めていく必要がある。
スポーツ・文化 芸術顕彰事業	生涯学習課	203,596	76,000	279,596	B	引き続き、個人や団体の優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。	B	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
文化振興事業	生涯学習課	5,677,632	2,494,717	8,172,349	C	市民の創造性や豊かな感性を育むことを目的に文化祭及び美術展の開催する。 文化の担い手である市民の、多種多様な文化芸術活動の活性化、文化意識の向上のためには発表の場の提供等の支援は不可欠である。	C	現状の事業の内容充実を図り、参加意欲を高め、より参加者や来場者にとって魅力のある事業とするとともに、市民に対して情報提供を行っていく。
相生市文化会 館管理運営事 業	生涯学習課	16,177,125	80,330,734	96,507,859	B	鑑賞と発表の両面から幅広い世代を対象に自主事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供する。 また、修繕計画に基づく計画的な施設の維持修繕と、市民ニーズに応じた機能の充実を図る。	B	コロナ禍に対応した会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで、利用者にとって安全・安心な会館を目指していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルスの拡大状況も少しずつ緩和され始めているので、国や県、市の対処方針を鑑みながら、事業の拡大をいかに 図っていくかが課題である。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化財事業	生涯学習課	2,238,207	1,665,405	3,903,612	A	学芸員の専門知識を活かし、市内に残された豊かな歴史文化遺産の適切な整理・保存・活用、市指定文化財の登録に取り組む。	A	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。
資料館管理事業	生涯学習課	6,472,681	3,139,400	9,612,081	B	施設の計画的な維持修繕を行うとともに、相生市の歴史・美術・文芸作品等に関する資料の収集、展示に努める。	A	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。
スポーツ・文化芸術顕彰事業	体育振興課	1,764,504	0	1,764,504	B	功績に相応した顕彰を贈呈していく。 競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場なくなる。	B	功績に相応した顕彰を贈呈していく。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	人権啓発活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	人権問題が多様化・複雑化する中で、市民向けの学習会、啓発事業、情報誌の発行は適切な手法と言える。年間を通じての市民人権学習会実施、推進強調月間や人権週間等に合わせたイベントの開催、年4回にわたる情報誌の発行等、時期・対象を考慮した効率的な方法を選択できている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権啓発事業	人権教育推進室	7,035,968	4,904,251	11,940,219	C	人権問題が多様化・複雑化する中で、新たな人権問題や身近な人権問題について市民が学ぶ機会を提供することは行政の責務であり、今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。	C	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加団体・参加人数ともに、令和2年度は、急激に減少した。令和3年度は、徐々に戻りつつあった年であり、令和4年度は、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生涯学習環境をつくる		施策の総合評価	B	課題 方向性	令和2年度に比べ利用者数は増加傾向にあるが、コロナ以前の水準までは回復していない。事業の拡大をいかに図っていくかが課題である。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公民館活動事業	生涯学習課	10,628,476	4,888,433	15,516,909	C	地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。	C	地域に対し公民館が募集している講座等をPRLし、住民の文化活動を支えていく。
多目的研修センター活動事業	生涯学習課	2,497,802	835,850	3,333,652	C	地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。	C	地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある。
図書館運営管理事業	生涯学習課	1,764,504	69,293,996	71,058,500	B	市立図書館としての役割を基本とし、指定管理制度による民間企業のノウハウを活かしたサービスの提供を行うとともに、適切な維持管理を行い、安心して読書活動ができる環境の維持に努める。	C	安心して読書活動ができる環境の維持に努める。
高齢者教育事業	生涯学習課	2,056,329	1,199,142	3,255,471	C	新たな学びの機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識や経験を活かせるような取り組みが必要。	B	高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会教育事業、公民館管理事業、多目的研修センター管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市民体育館管理運営事業	体育振興課	2,462,332	15,868,965	18,331,297	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。
市民プール管理運営事業	体育振興課	542,924	6,200,000	6,742,924	B	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。 学校授業としての利用ができなくなる。	B	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。
市民グラウンド管理運営事業	体育振興課	2,541,735	3,896,321	6,438,056	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。
温水プール管理運営事業	体育振興課	2,035,966	30,651,099	32,687,065	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会体育振興事業	体育振興課	4,566,164	1,744,841	6,311,005	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。 事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。
ジュニアスポーツ振興事業	体育振興課	4,458,598	538,740	4,997,338	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。
レクリエーションスポーツ振興事業	体育振興課	5,521,373	2,411,164	7,932,537	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
スポーツ教室事業	体育振興課	576,179	817,290	1,393,469	B	当事業は費用対効果に優れた事業である。 スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	B	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会体育費事務経費、相生市スポーツ推進委員事業							



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

2 安心して暮らせる、強くなやかなまち  
 (1)安全で安心なまちづくり  
 ①安心して暮らせるまちづくりの推進

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	施策の総合評価		課題 方向性	全国交通安全運動期間を中心に、子ども又は高齢者を対象とした交通安全教室や、街頭キャンペーンを行い、交通安全意識の普及に努めた。交通事故発生件数も年々減少し、成果として表れている。				
	担当部	B						
交通安全推進啓発事業	危機管理課	1,638,954	5,005,789	6,644,743	B	市民の交通安全意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B	交通安全教室やキャンペーン等の交通安全に関する啓発活動を引き続き実施するとともに、市民へ広く広報できる新たな取り組みも検討していく。
交通安全協会負担金事業	危機管理課	749,065	270,000	1,019,065	B	効果的に交通安全教室や交通キャンペーンを実施するため、継続して行う。	B	今後も警察、安全協会と市が連携し、効果的な交通安全教室、自転車教室の実施を継続するとともに、新たな取り組みについても検討する。
放置自転車対策事業	危機管理課	437,902	0	437,902	B	放置自転車が減少傾向にある現在の状況を注視しつつ、継続して実施する。	B	駅前を中心とした自転車駐輪場の整備が進み、放置自転車も年々減少しているが、日々のパトロールが重要である。
構成事務事業名 (評価対象)								
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	防犯対策の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	自治会による防犯設備設置支援として、防犯カメラ3台、防犯灯72台の設置補助を行った。地域における犯罪防止のため、引き続き、防犯環境整備の啓発と支援を行う必要がある。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	地域防犯設備設置補助金交付事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②防災力の強化

取り組み事項	災害への備えの充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	災害時の指定避難所用に、プライベートテントや簡易トイレなど、感染症対策用備品の整備を進めた。平時における防災対策は、今後も新型コロナの動向を注視しながら、状況に応じた対応が必要となる。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
安全安心のまち推進事業	危機管理課	749,065	1,000,000	1,749,065	B	市民の継続的な防犯意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	C	防犯カメラについて、幹線道路や公共スペースへの設置を防犯協会が行い、安全安心なまちづくりを行うことができる。また、新たに特殊詐欺防止対策として、高齢者を対象とした簡易型自動録音機の配布及び自動録音機購入補助事業を実施する。
防災訓練事業	危機管理課	720,901	0	720,901	B	災害時に一人ひとりが命を守る行動をとることができるよう、防災力の向上を図るため、継続して行う。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大人数が集まる活動を積極的に実施できていない。今後は図上訓練など、少数単位で可能な訓練が有効となる。
自主防災組織事業	危機管理課	749,065	97,162	846,227	B	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。	B	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	防災事業、水防業務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	消防団の運営・施設整備に関しては、適正に維持管理を行い運営を図ることができた。 消防団員の定数確保については、喫緊の課題として取り組みを行ったが、消防団員数は1名減となり、課題を残す形となった。 今後についても、消防団と一緒に粘り強く消防団員の募集を行い、地域防災力の向上を目指す。 また、西はりま消防組合との連携強化にあつては、相生消防署と合同訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大で中止となったため、実施に向け調整していく。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	消防団活動事業、消防団運営事業、消防操法大会等事業、消防施設整備事業、消防自動車等購入事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

3 健やかな暮らしを守り支え合うまち  
 (1)互いに支え合う福祉のまちづくり  
 ①地域福祉活動の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業や利用が減少した事業はあるが、今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
戦没者遺族等 団体活動補助 事業	社会福祉課	203,596	150,000	353,596	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも、会を支援し、存続させていく必要がある。	B	遺族会員の減少は避けられないが、戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも団体支援は必要である。
地域自殺対策 緊急強化事業	子育て元気課	203,596	258,500	462,096	B	自殺者の増加は避けなければならない、自殺を未然に防ぐための事業として認められるため、継続していく必要がある。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会やゲートキーパー養成研修は中止となったが、相談先の周知啓発を徹底することで、悩みのある方への支援となる。自殺を未然に防ぐことは重要であるため今後も継続実施が必要である。
総合福祉会館 管理運営事業	社会福祉課	2,307,429	84,320,860	86,628,289	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館を適正に管理運営していく必要がある。	B	市の地域福祉活動の拠点としての機能は維持していかなければならない。
老人いこいの 家等管理事業	長寿福祉室	407,193	1,835,911	2,243,104	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、施設は地域住民の貴重な交流の場の一つであるため、今後も適切に管理していく。	B	新型コロナウイルス感染症拡大により、利用人数は減少傾向にあるが、コロナ禍以前の利用人数を目標とし、利用促進を図るため、適切な管理に努める。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業や利用が減少した事業はあるが、今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
生きがい交流センター管理運営事業	長寿福祉室	1,357,311	8,941,463	10,298,774	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、高齢者の心身の健康被害を防ぐためにも、より利用者のニーズに合った講座の実施等により、適切に管理運営をしていく。	B	コロナ禍以前の年間利用者数に戻すことを目指し、より利用者のニーズに合った講座実施に向けて、緻密な年間計画を立てるなど、生きがい交流センターの管理者と連携を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	戦没者遺族等援護事業、更生保護活動補助事業、民生児童委員運営事業、社会福祉協議会活動事業(社会福祉)、老人福祉センター管理事業、社会福祉総務費事務経費(社会福祉)、社会福祉法人指導監査事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉のセーフティーネットを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活に困窮している方や生活保護受給者に対し、状況に応じた相談支援や適正かつ的確な制度運営を行うことで、地域のセーフティーネット機能の強化を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
行路困窮者取扱事業	社会福祉課	882,252	26,500	908,752	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今後一定数が見込まれる行路困窮者への救済措置は必要であり、現状のまま継続とする。	B	行路困窮者への一定の救済措置は必要である。
災害見舞事業	社会福祉課	203,596	250,000	453,596	B	自然災害被災者への第一次支援は市として実施すべきであり、現状のまま継続とする。	B	自然災害被災者の救済のためにも、第一次支援は必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	生活保護受給者就労支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、行旅死亡人取扱事業、生活保護適正実施推進事業、生活保護事業、生活保護総務費事務経費、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)障害のある人が安心して暮らせるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

①地域生活支援の充実

取り組み事項	社会参加を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	基幹相談支援センターについて、相談件数は減少傾向にあるが、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害の種別やニーズに対応できるよう、総合的かつ専門的な支援を行うことができるよう機能の充実を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
成年後見制度 利用支援事業	社会福祉課	339,327	265,517	604,844	B	成年後見制度は、頼ることができる親族がない障害のある人が、安心した日常生活を送るために必要な制度であるので、現状のまま継続とする。	B	配偶者等がない障害のある人や、配偶者等が後見開始等の審判の請求を行わない場合であっても、市長申立てにより障害のある人の利益が後見人によって保護されるため、潜在的なニーズは高い。
障害者団体等 補助事業	社会福祉課	339,327	450,000	789,327	B	障害のある人の社会参加や自立した生活の促進等、障害者福祉向上において、障害者団体は重要な役割を担っていることから、当該団体の活動支援を継続すべきである。	B	障害者福祉向上のために活動している障害者団体等の自発的活動や理解促進事業の発展に補助は有効である。
矢野あいあい センター管理事業	社会福祉課	339,327	1,430,590	1,769,917	B	地域における福祉活動と障害者自立に係る活動拠点の役割を担う施設であることから、現状のまま継続とする。	B	老朽化による変状が顕在化しつつあるが、安全確保に努め状況を注視しながら事業を実施する。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者地域生活支援事業							



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	A	課題 方向性	昨今、放課後デイサービス等、障害児の福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
重症心身障害者福祉年金支給事業	社会福祉課	678,655	16,022,400	16,701,055	B	障害のある人の経済的負担軽減の観点より継続実施すべきである。	B	少額の年金ではあるが、市民ニーズは高いと思われるため現状のまま継続とする。
身体障害者福祉基金事業	社会福祉課	203,596	90,200	293,796	B	身体障害のある人の経済的負担軽減の観点より事業の継続実施が適当である。	B	身体障害のある人の経済的負担を軽減し、生活の質の向上を図るため事業継続は必要である。
心身障害児就学奨励金支給事業	社会福祉課	475,058	313,000	788,058	B	心身に障害のある児童が属する世帯の経済的負担軽減ならびに当該児童の就学機会の確保の観点から本事業の継続は必須である。	B	心身に障害のある児童の健やかな育成を図るため事業継続は必要である。
心身障害者扶養共済制度施行事業	社会福祉課	339,327	27,889	367,216	B	共済制度への加入促進、ならびに障害のある人の将来の経済的安定にもつながる本事業は継続すべきである。	B	受給者数が少ないため、障害のある人の保護者に共済制度及び当該助成事業の周知を行う。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	A	課題 方向性	昨今、放課後デイサービス等、障害児の福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
心身障害児(者)歯科診療事業	社会福祉課	339,327	2,719,000	3,058,327	B	障害のある人の歯科診療の機会を確保するためにも、継続実施すべきである。	B	心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害のある人を対象に、相生市、赤穂市及び上郡町が共同で運営に要する費用の一部を助成することにより診療所の運営を行っているものであり、引き続き補助の必要性がある。
在宅重度心身障害者(児)等福祉事業	社会福祉課	248,388	647,740	896,128	B	障害のある人の移動手段としてタクシーの利用頻度は高く、障害のある人の社会参加促進のためにも本事業は継続実施とする。	B	障害のある人の移動手段として有効なタクシーの利用に対し市民ニーズは高く、障害のある人の行動範囲の拡大や社会参加を促進する上で必要な事業であり、助成を行うことは妥当である。
在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業	社会福祉課	203,596	0	203,596	E	令和3年7月から福祉医療助成の対象となったため、事業廃止とする。	E	重度障害者医療費助成事業及び高齢重度障害者医療費助成事業が令和3年7月から訪問看護ステーションの利用に係る訪問看護療養費を助成対象とすることに伴い、本事業も3年度限りとなった。
軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	社会福祉課	203,596	12,000	215,596	B	軽・中度の難聴児の言語等発達支援について本事業は有効であるため、継続実施すべきである。	B	軽・中度難聴児への支援策のため、現状のまま継続とする。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	A	課題 方向性	昨今、放課後デイサービス等、障害児の福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
障害者等住宅 改造事業	社会福祉課	203,596	0	203,596	B	障害のある人の経済的負担の軽減、ならびに居宅生活移行促進のためにも継続実施とする。	B	障害のある人等の経済的負担を軽減し、住み慣れた住宅・地域で生活を送ることが可能となり、生活の質の向上が図れる。
野の草園管理 事業	社会福祉課	678,655	599,500	1,278,155	B	障害のある人の生活介護、就労継続支援を実施しており、市の障害者福祉の増進にも寄与する施設であることから、現状のまま継続することとする。	B	安全確保に努め状況を十分に把握し事業を実施する。
重度身体障害 児(者)訪問リ ハビリテーショ ン利用支援事 業	社会福祉課	203,596	62,010	265,606	E	令和3年7月から福祉医療助成の対象となったため、事業廃止とする。	E	重度障害者医療費助成事業及び高齢重度障害者医療費助成事業が令和3年7月から訪問看護ステーションの利用に係る訪問リハビリテーション費を助成対象とすることに伴い、本事業も令和3年度限りとなった。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者自立支援事業、特別障害者手当等支給事業、重度心身障害者(児)介護手当支給事業、障害福祉計画等策定事業、障害児通所給付支給事業、障害者福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3)子育てしやすいまちづくり  
 ①子育て環境の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	母子保健対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	多岐にわたる子育て世代の相談内容に応じ、各関係部署及び関係機関と連携することにより、相談内容を解消することができた。引き続き体制を維持し、必要な支援を適切に行っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
特定不妊治療費等補助事業	子育て元気課	296,911	4,131,767	4,428,678	E	健康保険適用外の治療を受けなければ妊娠を望めない夫婦の経済的負担を軽減し、治療を諦めることがないように実施した。令和4年4月1日より対象の治療が保険適用となったため、事業を終了する。	E	特定の不妊治療が令和4年度から保険適用となったため、事業を終了する。
妊婦歯科健康診査実施事業	子育て元気課	310,484	201,000	511,484	B	妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながることから、継続実施していく。	B	妊娠中の歯科健診の重要性を伝え、受診しやすい環境を整えることで妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながる。妊娠届出時の同時交付で全妊婦へ直接対応できており効率的である。受診率向上へ向けて取組内容を検討し、今後も継続実施する。
子育て世代包括支援センター事業	子育て元気課	5,923,310	1,477,066	7,400,376	B	妊娠届出時にきめ細やかな面談を行うことにより、妊娠期、出産、子育て期とそのステージに応じた対応等を行うことができていく。今後も安心して子育てができるよう引き続き支援していく。	B	母子手帳交付時の面接で保健師が妊婦の健康状態など確認し支援の有無などを把握できている。妊娠期から関わっているため、産後も関係を築きやすく、支援の必要な事例については漏れなく支援を実施できた。
構成事務事業名 (評価対象外)	育児等健康支援事業、妊婦健康診査等補助事業、母子保健相談指導事業、乳幼児健康診査等事業、未熟児養育医療給付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもへの虐待防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相談指導や関係機関との連携により、支援が必要な家庭の早期発見・早期対応を行えた。また、育児期における親の孤立感を軽減し、育児不安を解消するとともに、虐待を未然に防止するため、2歳児のいるすべての家庭を訪問することで、要支援家庭等を早期に発見し、関係機関と連携し必要なサービスにつなげることが出来た。引き続き支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て家庭支援訪問事業	子育て元気課	339,327	676,400	1,015,727	B	支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげるため、引き続き実施していく。	B	引き続き、支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげる必要がある。
家庭児童相談室運営事業	子育て元気課	1,211,067	273,270	1,484,337	B	児童虐待の防止のための重要な窓口として、引き続き保護者等からの相談を受け、関係機関との連携を密に行っていく。	B	家庭環境や時代背景などにより多種多様な相談が増加しており、関係機関と更なる連携が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	要保護児童対策事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項			施策の総合評価	B	課題 方向性			
	ひとり親家庭などの自立を支援する		担当部	健康福祉部		ひとり親家庭の自立において、子育てにかかる相談業務や資格取得の補助は重要であるため引き続き事業を実施していく。		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会福祉総務費事務経費(子育て)	子育て元気課	339,327	50,000	389,327	B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として引き続き実施していく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、野外活動等の参加者が減少している。今後、広報等によりさらなるPRが必要である。
交通遺児激励事業	子育て元気課	67,865	80,000	147,865	B	交通遺児が新たに発生することは喜ばしいことではないが、新たに発生した場合には激励金を速やかに支給することで、引き続き対象児童及びその家庭の経済的支援を行う。	B	交通遺児は受給者数が増えることは好ましいものではないが、新たに対象となる者に対し、漏れなく支給出来るよう努めていく。
母子家庭等自立支援給付金事業	子育て元気課	1,101,120	1,680,000	2,781,120	B	ひとり親家庭の就業を促進し自立を促す。	B	母子・父子自立支援員の就労相談や児童扶養手当の現況届提出時の就労状況の確認等、当該事業の活用に結びつく体制を構築し、引き続き母子・父子家庭の母及び父の就労支援を促進する。
構成事務事業名 (評価対象外)	母子父子福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②子どもの健やかな発育の支援

取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	保育士確保や保護者の経済的負担軽減のため引き続き適切に事業を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
利用者負担額補助事業	子育て元気課	610,790	2,467,400	3,078,190	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。
保育士等就業支援事業	子育て元気課	339,327	300,000	639,327	B	事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。	B	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。
副食費補助事業	子育て元気課	678,655	6,924,000	7,602,655	B	引き続き実施することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	B	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、効果的な補助を実施出来ている。
保育対策総合支援事業	子育て元気課	67,865	0	67,865	C	活用しやすい制度とするため、補助要件を見直し、より実効性のある事業を目指す。	C	現在の事業は国庫補助の要件であることから、利用のためのハードルが高いため、財源も含め別の手法を検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	保育所管理運営委託事業、保育所等運営事業、特別保育補助事業、保育所施設整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業について、新型コロナの影響等により減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。	
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)		方向性	所見
子育て情報提供事業	子育て元気課	1,221,580	360,612	1,582,192	B	引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。	B 子育て中の親に、仲間づくりや情報交換が出来る地域の拠点や子育て関連情報の提供を行い、子育て支援を推進出来ている。
子育て学習活動推進事業	子育て元気課	2,861,392	693,313	3,554,705	B	地域の子育て拠点として重要な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B 新型コロナウイルス感染症により年間の事業回数は減少したものの相談件数は増加傾向にあり、引き続き相談内容に合った支援や関係機関につなげる必要がある。
修学旅行援助事業	子育て元気課	67,865	91,000	158,865	B	適切に対象者に支給が出来ており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B 要保護、準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額等を維持し、引き続き支援を実施していく。
子供の遊び場等設置補助事業	子育て元気課	67,865	59,950	127,815	B	利用実績が無い年度もあることから自治会等に制度周知を行い、引き続き実施していく。	B 自治会等に対し制度周知を行い、子どもの遊び場の確保のため引き続き実施していく。



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業について、新型コロナの影響等により減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ファミリーサポートセンター事業	子育て元気課	1,747,545	462,315	2,209,860	B	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉の増進を図る。	B	引き続き事業を継続していくことで、仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、保護者等や児童の福祉の増進を図る。
子育て応援券交付事業	子育て元気課	290,634	1,523,370	1,814,004	C	利用実績としては任意の予防接種が大半を占めているが、予防接種の状況により利用実績が大きく影響を受けるため、利用できるサービスの見直しを含め、事業のあり方を検討する。	C	利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討していく必要がある。
出産祝金支給事業	子育て元気課	1,580,079	9,712,990	11,293,069	B	引き続き出生児及び多子世帯を祝うことで定住を促進していく。	B	1号祝金、2号祝金とも適切に支給出来ている。引き続き適切な支給に努め、定住促進の効果を高める。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会福祉協議会活動事業(子育て)、児童手当等支給事業、子ども・子育て支援事業、児童福祉総務費事務経費、児童手当等支給事務事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(4)健康に暮らせるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

①地域医療の充実

取り組み事項	地域医療体制を充実させる		施策の総合評価	B	課題 方向性	一次救急の受け入れ先がなくなれば、二次救急、三次救急への圧迫等影響があるため、このまま体制を維持する。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	救急医療施設運営事業、保健衛生総務費事務経費								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	目標の達成状況は高い水準を維持しているが、入学試験の出願者は減少傾向にある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
看護専門学校 運営事業	看護専門学校	67,865,560	171,426,953	239,292,513	B	看護師国家試験の合格率は、平成30年度及び令和元年度はそれぞれ1名が不合格となったものの、令和2年度及び3年度はいずれも全員合格し、高い合格率を維持している。現在、令和8年度の運用開始に向け、校舎の建替え事業を進めており、校舎更新による教育環境の向上により受験生への訴求力を高めていく。	B	看護師国家試験の合格率は高い水準を維持しているが、出願者は平成25年度をピークに減少傾向にある。優秀な学生確保の対策として、入試制度の改革やオープンキャンパスの拡充等に引き続き取り組むとともに、新校舎建設事業を円滑に進め、教育環境の向上を図る。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	安定した市民病院運営を行う		施策の総合評価	B	課題 方向性	入院患者数、入院収益の減により経常収支比率、医業収支比率ともに目標値を下回った。今後、他の医療機関や介護施設、ケアマネ等との連携を強化し、患者の確保に努めていきたい。			
			担当部	市民病院					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②健康づくりと予防対策の推進

取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、実施方法等の工夫を行い、引き続き健康づくりと予防対策を進める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
健康づくり推進 事業	子育て元気課	1,769,594	1,910,737	3,680,331	C	健康への意識を高めるためにも、周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診者数が伸び悩んでいるが、コロナ禍だからこそ健康への意識を高める必要があるため、周知方法の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者の増加につなげていく。
健康ポイント制 度事業	子育て元気課	367,491	376,610	744,101	C	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツ等の工夫を行い、本事業の参加者、特に若年層の参加者の増加を図り、引き続き健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図る。	C	若年層の参加が少なく改善が必要であり引き続き周知方法を含め実施について検討の必要がある。市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツを工夫したり、その他事業等も活用していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	若年者の在宅ターミナルケア支援事業、保健対策推進事業、後期高齢者健康増進事業、健康増進事業、食育推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症などの予防を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	感染症を予防するには、予防接種により市民全体の免疫水準を維持し一定の接種率を確保することが重要である。そのため、通年による予防接種機会の確保を図り継続して事業を進める。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	予防接種事業、感染症予防事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(5) 高齢者がいきいきと暮せるまちづくり  
 ① 日常生活支援の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
敬老事業	長寿福祉室	2,375,294	6,887,956	9,263,250	B	高齢者に生きがいを与える事業ではあるが、今後も事業内容については、社会情勢や近隣市町の動向を注視し、検討は欠かさないようにしていく。	B	敬老事業は対象者及びその家族からは大変喜ばれている。市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらい、高齢者の方に生きがいを持っていただくことができている。また、敬老事業の機会に高齢者の在住確認ができるメリットもある。
高年クラブ等社会活動促進事業	長寿福祉室	1,968,101	2,934,299	4,902,400	B	後期高齢者の増加に伴い、会員数は減少傾向にあるが、地域の活動の場やつながりの場としての機能は、活動している地域では有効であるため、引き続き加入促進を図り、活動の支援を図りたい。	B	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者、団塊世代の比較的若い層の方々に高年クラブの活動に参加、体験したいと思うような活動内容、広報手段を新たに考え、加入促進を図りたい。
しあわせ基金事業	長寿福祉室	1,493,042	1,300,000	2,793,042	B	高齢者の在宅福祉の向上及び健康づくりの推進に寄与するための事業に適切に支出できるよう、適宜事業を見直しながら基金事業を組み立てていく。	B	基金事業を見直す会議等において、事業内容などを精査して、よりよい事業内容に基金を支出できるよう改善を図る。移送サービスについては、今後また周知方法などについて社協と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。
老人短期入所運営事業	長寿福祉室	475,058	47,850	522,908	B	虐待による緊急的な措置としても必要不可欠な事業である。介護報酬の見直しと同時に委託料の見直しが必要である。	B	養護老人ホームが満床である場合には事業実施は難しいが、虐待案件などの緊急性がある場合に必要な事業である。高齢者の安心安全また健康的な生活のためには必要な制度である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者等住宅 改造助成事業	長寿福祉室	1,493,042	4,631,200	6,124,242	B	県事業の随伴補助であり、事業費の1/2の補てんがあり、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を継続するために必要な事業である。	B	専門職による事前調査により、申請者にとって不要な工事を発見し、未然に不要な給付を防ぐこともあり、効果的で適正な事業実施ができています。
高齢者在宅生活 支援事業	長寿福祉室	882,252	38,000	920,252	B	高齢者の在宅生活を支援していくための施策であるが、今後も社会情勢を鑑みながら事業の見直しを随時していく必要がある。	B	事業の利用要件に該当する人が少なく、利用者が少ない状況である。
アイアイコール 事業	長寿福祉室	610,790	2,170,025	2,780,815	B	在宅生活の安心安全のために一定のニーズはある。	B	利用者が緊急ボタンを押し、救急車で搬送される件数が毎年数件あり、相談連絡等も毎月利用されている方がいる状態である。 近隣に緊急補助員のなり手がいないため、遠方の家族が登録されている場合があります課題である。
お元気コール 事業	長寿福祉室	678,655	207,740	886,395	C	新規申込者に関しては、高年クラブの会員による「お元気コール」のみとなり、高年クラブの役割としての効果もある。	B	現在の利用者は週一の連絡を楽しみにされている方が多い。 登録者数の増減はほぼない状況である。
構成事務事業名 (評価対象外)	老人保護措置事業							



施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②地域包括ケアの推進

取り組み事項	介護予防などを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	それぞれの状況に応じた事業、サービスを提供することで、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう努めている。今後はさらなる効果が得られるよう、事業等を見直しながら取り組んでいく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
通いの場運営 支援事業	長寿福祉室	475,058	3,778,500	4,253,558	B	令和3年度から開始した事業であるため、令和5年度までで事業を見極め、継続する必要性の有無を検討していく。	B	令和6年3月31日までを事業実施期間として一度見直し、事業の整理を行うこととする。この事業で集約されたデータをその後の事業や施策の方針を決める材料とする。
高齢者保健事業・介護予防等 一体的事業	子育て元気課	2,850,353	979,856	3,830,209	B	後期高齢者に対し、健康寿命の延伸に向けた個別または集団への支援は、継続的・定期的実施していく必要がある。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標としていた数値には達していないが、実施できた分については、フレイル予防に関する知識等の普及啓発及び行動変容を図ることができた。
地域介護予防 活動支援事業	子育て元気課	2,918,219	0	2,918,219	C	いきいき百歳体操の参加者増加のため、積極的な周知が必要である。また、参加者が減少しないようコロナ禍での実施方法や事業の効果説明を行い、要支援・要介護状態にならないよう保健師や栄養士等の専門職の健康教育の実施等、他の介護予防事業や関係機関と連携を図りながら高齢者がいきいきと暮らせるよう支援策を検討する。	C	いきいき百歳体操の参加者の増加に向け積極的な周知や参加者が要支援・要介護状態にならないよう健康教育等が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	介護予防普及啓発事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防把握事業、一般介護予防事業評価事業、介護保険事業、介護保険事業、介護保険事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防・生活支援サービス事業、高額介護予防サービス費相当事業、高額医療合算介護予防サービス費相当事業							



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
家族介護用品 支給事業	長寿福祉室	475,058	681,631	1,156,689	B	寝たきり高齢者等を在宅で介護している家族の経済的・精神的負担の軽減を図ることができており、継続して実施する。	B	利用者が少なく認知度も低いいため、ケアマネジャーや民生委員等へ引き続き周知していく。
家族介護慰労 金支給事業	長寿福祉室	271,462	120,000	391,462	B	在宅で家族等が介助をする際の経済的・精神的負担の軽減を図ることができ、現時点では継続すべき事業であるが、近隣市町及び社会情勢を鑑み、事業については随時検討していく。	B	要介護4相当以上の者で、介護サービスを利用していないという条件に該当する人はかなり少ない状況である。
成年後見制度 利用支援事業	長寿福祉室	610,790	0	610,790	B	経済的な理由などにより制度が利用できていない方の救済を行うために必要であり、継続して実施する必要がある。	B	後見制度利用の必要があっても、申立ができない方や、経済的な理由などで制度利用ができない方を救済できるため必要な事業である。
認知症高齢者 サポート事業	長寿福祉室	1,221,580	449,782	1,671,362	B	認知症への正しい理解や対応のためには、認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成は不可欠であることから、継続して実施する。	B	キャラバン・メイト希望者には近隣や県の研修に受講を案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせ、キャラバン・メイトの養成も事業として必要不可欠である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
高齢者見守り 事業	長寿福祉室	1,357,311	170,274	1,527,585	B	高齢者等の安全安心な在宅生活のために、協力機関、地域及び関係機関と連携した見守りは必要不可欠であるため、継続して実施する。	B	新規の協力機関獲得のため、事業の周知に努める必要がある。 今後も地域と連携し、ひとり歩き高齢者に対して安全・安心の確保に努める。	
構成事務事業名 (評価対象外)	包括的支援事業、市民後見推進事業								



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	福祉医療の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	福祉医療制度を充実させることで、助成対象者等にかかる負担の軽減に効果が出ているものと考えている。疾病の早期発見、早期治療等により健康を保持し、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)		方向性	所見
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	所見	事業単独でみた評価 方向性 所見
乳幼児等医療費助成事業	市民課	1,425,176	50,985,369	52,410,545	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てにかかる負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B 今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
こども医療費助成事業	市民課	1,425,176	38,672,020	40,097,196	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、こどもの保護者等に対し、引き続き、子育てにかかる負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B 今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
自立支援等医療費助成事業	市民課	746,521	163,310	909,831	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てにかかる負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B 他の公費負担医療が優先適用され、福祉医療制度の対象とはならない、乳幼児等及びこどもの医療費の他公費助成後の自己負担額の全部を助成し、乳幼児等医療費助成対象者及びこども医療費助成対象者との公平性を確保する。
鍼灸マッサージ 治療費助成事業	市民課	485,239	1,461,000	1,946,239	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、対象者に対し、引き続き、負担の軽減を行い、市民が安心して施術を受けることができる環境づくりに努めることが必要である。	B 対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。社会的公平を図る観点、当該事業の担う役割及び本市の財政事情等を踏まえ、事業の方向性を検討する。
構成事務事業名 (評価対象外)	母子家庭等医療費給付事業、高齢期移行者医療費助成事業、高齢重度障害者医療費助成事業、重度障害者医療費助成事業、福祉医療費一般事務経費						

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 活気のあるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

① 安心して生活できる環境の整備

取り組み事項	空家等対策を推進する		施策の総合評価	A	課題 方向性	空家等対策計画に基づき空家の利活用や適正管理について55件の啓発を行った。 空家所有者へ適正な管理を促すため西播磨暮らしサポートセンターや宅建協会と連携し対応を行う。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
空家等対策事業	地域振興課	5,374,952	4,679,841	10,054,793	B	地域の安全安心を守るため空家等対策を推進することは必要である。	B	市民の安全・安心を守るため老朽危険空家の除却、管理不全空家の解消、優良空家の利活用推進を行うことは必要である。	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公共交通の利便性向上を図る		施策の総合評価	D	課題 方向性	各種団体へ乗り方教室を実施するなど利用促進を図っていく。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
地方バス路線 維持補助事業	地域振興課	1,764,504	13,366,000	15,130,504	B	赤字路線の経費は増加しているが、バス事業者の努力により運行を続けている。 減便とにならないよう利用促進を図る必要がある。	B	移動困難者の支援のためデマンドタクシーの利用について啓発を行う。	
構成事務事業名 (評価対象外)	生活交通システム事業								



施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②市民の協働によるまちづくりの推進

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の取り組みを支援しながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
消費者行政推進事業	地域振興課	5,266,716	688,857	5,955,573	B	消費生活相談は毎年多くの相談を受けており事業継続は必要である。	B	スマートフォンの普及、外出自粛によりネットトラブルは増加傾向であり他市町における被害状況を把握するとともに相談を行っていく必要がある。
緑化推進事業	地域振興課	2,188,595	939,931	3,128,526	B	緑化推進には地域団体の活動が活発になる必要があるため事業継続は必要である。	B	各団体において花壇等の管理を頂き、緑化意識の啓発をすることができた。
コミュニティ推進事業	地域振興課	1,133,357	3,597,721	4,731,078	B	地域団体の活動において夏祭りなどのイベントをすることはコミュニティの活性化には必要であり事業継続は必要である。	B	新型コロナウイルス感染症によりイベントがなくなっている。今後は、地域が活性化するよう備品借用時に各団体の意見を聞き今後の施策へ反映したい。
地域自治支援事業	地域振興課	2,429,063	10,771,675	13,200,738	B	地域問題の解決をする主な団体として自治会は不可欠であり、事業継続は必要である。	B	自治会の組織の弱体化が進む地域もあり、地域課題の解決に取り組めるよう支援するとともに地域コミュニティの活性化を促進する必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の取り組みを支援しながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
集会所等設置 費助成事業	地域振興課	761,112	5,400,000	6,161,112	B	自治会を維持するために、地域コミュニティの拠点である集会所の整備や改修等の支援をすることは必要である。	B	適時、集会所の改修等を行うことで施設の延命化が図られている。
佐方福祉セン ター管理事業	環境課	475,058	1,948,488	2,423,546	B	多様なコミュニティ活動の場として住民の福祉に寄与しており、事業継続は必要である。	B	現美化センター建設時に地元への貢献施設として建設された当該施設であるが、新たに美化センターを建て替える際の将来的な位置づけについて検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	相生市総合補償保険事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	男女共同参画社会の実現に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民啓発グループとの協働によりセミナーの実施をしておりセミナー内容を市民目線での内容とした。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
いきいき男女共 生事業	地域振興課	4,343,395	645,520	4,988,915	B	男女共同参画の意識啓発のためにもセミナー等の開催は 事業継続する必要がある。	B	市民活動グループとの協働によりセミナー等の円滑な実施 ができています 相生市男女共同参画センターについては、有効活用を図る 必要があります。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③まちのにぎわいの創出

取り組み事項	就労環境の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	就労支援については継続した取り組みを行うことで地元就職者の増加を目指す。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
就労促進事業	地域振興課	820,018	711,520	1,531,538	A	地域活性化を図る上では若年者の地元就職支援への取り組みは必要であり、新規施策を展開しながら実施する。	A	就労機会の確保や雇用の安定を図るためには必要な施策である。令和4年度より新たに、奨学金返還制度を設ける事業所に対する助成を行うことで、より充実した就労環境の構築を図る。
労働者福祉事業	地域振興課	412,825	384,000	796,825	B	コロナ禍において活動が制限されているが、ウィズコロナ・ポストコロナにおいても労働者の福祉活動向上のため、継続して実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、メーデー等の活動が制限されたが、労働者の福祉活動の向上のため、本協議会の活動への助成を維持していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	勤労者住宅資金融資事業、シルバー人材センター育成事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
商工業対策事業	地域振興課	598,234	26,000	624,234	B	市内特産品等を効率的にPRしていくため、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも効率的、効果的に特産品等のPRが出来ている。しかし、市内特産品の取扱件数が少ないため、製造・販売者へより周知していく必要がある。
地場産業振興センター事業	地域振興課	190,023	283,000	473,023	B	市内特産品等を効率的にPRしていくために、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも効率的・効果的に特産品や地場産品のPRが出来ているため、継続とする。
地域振興事業	地域振興課	5,324,732	78,385,184	83,709,916	B	新型コロナウイルス感染症が収束の兆しがない状況においては、市民や事業者に対して必要な支援を行う必要があることから、継続して実施する。	B	新型コロナウイルスによる影響が収束を見せない状況においては、今後も事業者等の状況把握につとめ、国・県の動向にも注視し、様々な観点から必要とされる支援策を実施していく必要がある。
商店街空店舗等活用事業	地域振興課	684,287	1,081,000	1,765,287	B	創業支援事業と連携し、新規創業希望者の創業意欲を高めるためにも継続して実施する。	B	例年一定数の利用がある中で、より一層の利用を促進していくため、今後も創業支援と連携して継続していく必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価		課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。			
			A	担当部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
商店街活性化事業	地域振興課	831,284	150,000	981,284	B	商店街空き店舗の情報を更新・活用することで、商店街の活性化を図るためにも継続して実施する。	B	新規創業希望者への創業支援や商店街の活性化のため、空き店舗バンクの更新については継続して実施していく。	
商工会議所振興事業	地域振興課	352,900	6,071,000	6,423,900	B	市の商工業の活性化を図る上では相生商工会議所との連携が必要であり、継続して実施する。	B	相生商工会議所と連携して商工業の振興を図るため、今後も継続して助成していく。	
創業支援事業	地域振興課	678,655	500,000	1,178,655	B	商店街空き店舗助成との連携により効果的な取り組みが行えており、継続して実施する。	B	創業相談の実施や空き店舗助成の活用により新規創業につなげることができている。また、創業相談者が創業塾を受講することでより安心して確実な創業への取り組みを行うことが実現できている。	
匠の技(造船技術)継承事業	地域振興課	114,216	200,000	314,216	C	伝統技能継承にかかる本事業のPRをさらに行ったうえで、継続して実施する。	C	研修の内容や活動実績について、企業以外にも広報紙等で市民に広くPRを行い、伝統技能継承に携わる本協議会の活動内容の充実化を図る必要がある。	

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者や市民については、今後も継続的な支援を講じる必要があり、また、地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中小企業小額 資金融資事業	地域振興課	179,775	154,743	334,518	B	コロナ禍においては利用ニーズは低い状況であるが、本融資はコロナの影響によらず利用可能であることから、継続して実施する。	B	コロナ禍においては国や県の有利な融資制度があることから本制度のニーズは低いのが、長引く景気の低迷により苦しい立場にある市内中小企業者への支援制度として継続して実施する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	計量推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④地域資源を活かした観光の振興

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	イベントの開催が中止となっていたため運営に関してのノウハウの継承が懸念されるため、しっかりとした準備をして取り組む。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中学生ペーロン 推進事業	地域振興課	141,363	344,082	485,445	B	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。	B	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。令和3年度は行事自体は中止となったが、次回以降のより安全な開催に向け備品の購入など準備を行った。
海洋訓練教室 推進事業	地域振興課	190,023	663,763	853,786	C	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取り組みを検討し、実施する。	C	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。
観光協会推進 事業	地域振興課	2,159,889	3,280,000	5,439,889	B	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光PRに制限に係る状況であったが、相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。
相生ペーロン祭 事業	地域振興課	5,230,229	13,680,795	18,911,024	B	令和4年度で伝来100周年を迎えたが、101年目以降も相生市の伝統文化である相生ペーロンを普及・推進していくためにも継続して実施する。	B	令和3年度は行事自体は中止となったが、新艇建造事業をはじめとする相生ペーロン伝来100周年記念事業を行った。ペーロン祭について、行事の中止により中止決定までの必要経費を支出するにとどまっている。新艇建造についてはスケジュールの遅れもなく、適切に事業が完了した。令和2年度に続いてペーロン祭が中止しており、事務局・協会ともに運営ノウハウの継承が心配される。



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	イベントの開催が中止となっていたため運営に関してのノウハウの継承が懸念されるため、しっかりとした準備をして取り組む。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
羅漢の里もみじまつり事業	地域振興課	4,184,590	47,438	4,232,028	B	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。	B	地元自治会などの意見も参考に、実行委員会として行事の中止を決定した。行事の開催は瓜生をはじめとした地元の理解協力が不可欠であることからやむを得ない中止決定であった。その一方で行事開催への問い合わせも多かったことから、感染対策との両立が今後の課題である。他の祭りと同様、事務局内の運営ノウハウの継承が心配される。
相生かきまつり事業	地域振興課	2,665,419	629,590	3,295,009	B	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして、継続して実施する。	B	行事の中止に伴い、市内店舗とともに代替事業を実施した。また、相生駅を利用する方をターゲットとしたかきの通販窓口も多くの方に利用いただき、市外へのPRを実施できた。ただし、他の行事同様、事務局の運営ノウハウの継承が心配される。
相生ペーロン振興事業	地域振興課	1,142,176	550,000	1,692,176	B	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また、体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。	B	ペーロン関連行事の中止により、体験乗船は実施できなかったが、艇の管理など次年度以降への準備を行った。
ペーロン海館管理事業	地域振興課	299,626	3,027,010	3,326,636	B	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。	B	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	イベントの開催が中止となっていたため運営に関してのノウハウの継承が懸念されるため、しっかりとした準備をして取り組む。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道の駅管理運営事業	地域振興課	245,333	5,061,913	5,307,246	B	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。	B	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	観光費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域観光を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	ウィズコロナ・ポストコロナを見据えたインバウンドへの対応を含めた受け入れ体制づくりを検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市観・交・ 商連携型地域 活性化事業	地域振興課	3,616,556	3,798,362	7,414,918	B	広域観光の推進においては、あいおい情報ラウンジを拠点施設として継続的に取り組んでいく必要がある。	B	駅前を拠点として市内全域の活性化を目指す上でも、観光・交通・商業の各関係機関と連携し継続していく必要がある。
ふるさと応援大使活用事業	地域振興課	902,476	265,908	1,168,384	C	広域的に情報を発信する有効な手段として、活用方法を検討した上で継続して実施する。	C	ふるさと応援大使の任命者の位置づけ、役割を整理した上で、より広く市内外に相生市をPR出来るような活用の方法を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3)環境にやさしいまちづくり  
 ①豊かな自然環境の保全

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境汚染防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	職員の少ない中、苦情に係る対応について迅速に処理ができた。				
			担当部	市民生活部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	大気汚染常時監視網管理運営事業、公害行政推進事業、水質汚濁調査運営事業									

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境保全活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生湾を中心としたあいおい播磨灘の里海づくりにおいて、子ども達の体験型の自然学習活動等を展開しており、その活動に関わる団体や協力機関が増え、徐々に里海づくり活動の広がりが出てきている。 今後は、その広がりを継続しながらより多くの市民参加ができるような活動内容を検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境施策関連 事業	環境課	3,639,120	32,644	3,671,764	B	概ね計画通り進捗している。	B	活動の幅を広げるためには参加者枠を広げる必要もあると思われるが、海での体験活動がメインのため、安全管理面から「里海クラブ」員を20名限定としている。安全に活動を行っていただける方策を研究する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	自然公園管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②環境衛生の保持

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
リサイクル推進事業	環境課	1,916,863	2,285,388	4,202,251	B	市民の環境啓発の場として十分な役割を果たしており、引き続きニーズなどを見ながら継続して事業を行う。	B	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので安定価格ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。
ごみ箱等設置補助事業	環境課	339,327	350,000	689,327	B	概ね計画通り進捗している。	B	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行っており、地域の美観確保につながっている。
塵芥収集事業	環境課	127,711,446	48,904,180	176,615,626	B	職員定数減により収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。	B	一部、未だ分別されずごみ出しが行われているので、普及啓発を行う必要がある。
美化センター管理運営事業	環境課	12,169,652	227,163,432	239,333,084	C	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理に努めている。	C	新施設の計画が必要となっている。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
最終処分場管理運営事業	環境課	3,000,166	2,650,660	5,650,826	B	埋立について更に減量を図りながら延命化に努める必要がある。	B	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋め立てごみの削減を図る必要がある。
粗大ごみ処理事業	環境課	6,189,847	4,775,883	10,965,730	B	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。	B	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。
ごみ有料化事業	環境課	1,348,319	21,633,514	22,981,833	B	概ね計画通り進捗している。	B	コスト削減や在庫管理の徹底を行う。
リサイクルセンター管理運営事業	環境課	10,739,385	13,034,023	23,773,408	B	使い捨てからリサイクルへとライフスタイルの変化に対応すべく、分別の徹底によりごみの適正処理ができています。	B	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要がある、逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境クリーン事業	環境課	1,085,848	2,962,080	4,047,928	B	概ね計画通り進捗し、市内の環境美化が図られた。	B	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。
構成事務事業名 (評価対象外)	近畿自然歩道事業、清掃総務費事務経費、塵芥処理費事務経費							



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	し尿の適正な処理をする		施策の総合評価	B	課題 方向性	効率的な収集計画に基づきコスト削減に努め、有効に対応できた。 今後も、効率的な収集計画に基づき適正処理を行う。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	し尿収集事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症の蔓延を予防する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市内に公衆浴場が1軒となっているが、衛生面からも存続が必要であり、事業者育成のためには、支援する必要がある。市内の側溝からの感染症を予防するためにも、害虫駆除事業は継続する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公衆浴場設備 改善資金利子 補給補助事業	環境課	67,865	0	67,865	B	公衆浴場が存続している限り継続する必要がある。	B	公衆浴場の存続のため、事業方法について引き続き検討を行う。 浴室が設置されていない老朽家屋に住む世帯の衛生管理面からも、公衆浴場が存続している限り継続する必要がある。
衛生害虫駆除 事業	環境課	135,731	0	135,731	B	環境衛生の保持のために、自治会等の協力を得ながら継続する必要がある。	B	概ね計画通りに進捗している。
構成事務事業名 (評価対象外)	畜犬登録事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	基地などの適正管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	事務事業全体としては、予定どおり進捗しているが、葬儀事業等、見直しができるところは今後の課題として取り組んでいく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
葬儀事業	環境課	1,425,176	1,835,618	3,260,794	B	適正かつ効率的な運営を行うことができた。	B	葬儀祭壇等の修繕を行いながら運営を行っているが、経年劣化により老朽化が進んでおり、経費削減に努めつつ、安全に運営を行えるように備品の修繕及び更新を行う。
ささゆり苑管理 運営事業	環境課	1,764,504	40,271,071	42,035,575	B	民間での葬儀が増えている中で、ささゆり苑を利用する人が不便なく利用できるように施設の管理に努め、効率的な運営を図ることができた。	B	市民に欠かせない施設として、火葬炉の全面積替修繕を行いながら延命化に努め、多様化する市民ニーズに対応できるように効率的な運営を図ることができた。
市営墓地管理 事業	環境課	2,499,488	60,370,548	62,870,036	B	一般墓地貸付率が96%程で推移しており、市民サービス面でも適正に運営できている。現状のまま事業を継続していく。	B	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、墓地の貸付数についてはここ数年5件程で推移しており、需用費等のコストを抑えることで、1基あたりの維持管理経費を減少させることにつながっている。
構成事務事業名 (評価対象外)	市営墓地使用料還付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

5 暮らしを支える都市機能の整ったまち

(1) 快適に暮らせるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

① 快適な都市機能の維持

取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	安定経営に向け下水道使用料の改定を行った。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	下水道事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める		施策の総合評価	B	課題方向性	美化意識の向上、自治会組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道路愛護事業	建設管理課	1,184,423	401,920	1,586,343	B	河川愛護事業と並行して事業実施し、快適に暮らせるまちづくりを進めていく。	B	近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加する自治会が減少している。通常、各自治会の年間行事で予定していることから、今後は開催方法を工夫しつつ活動が再開されると見込んでいる。
構成事務事業名 (評価対象外)	交通安全施設整備事業、街灯維持管理事業、道路橋梁維持管理事業、道路台帳整備事業、道路橋梁整備事業(都市整備)、道路橋梁整備事業(建設管理)							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	国・県からの受託事務であるため、継続実施する。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	土地利用規制等対策事業、都市計画基礎調査事業、屋外広告物取扱事業、地籍調査事業、都市計画総務費事務経費、土地区画整理事務経費、建設管理課事務経費、都市整備課事務経費、狭あい道路整備事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②安心な住環境の保全

取り組み事項	住環境の整備に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	住宅の地震に対する耐震化促進のため簡易耐震診断の実施に対し支援を行った。地震等災害からの予防及び被害軽減のため支援するものであり、引き続き事業を実施する。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
簡易耐震診断 推進事業	都市整備課	2,578,891	409,500	2,988,391	B	県下全市町において実施されている事業であるため、引き続き実施する。	B	毎年度定期的に広報、ホームページ等で普及啓発記事を掲載することにより、市民の意識向上を図っていく。
住宅耐震改修 促進事業	都市整備課	1,493,042	0	1,493,042	B	県下全市町において実施されている事業であるため、引き続き実施する。	B	毎年度定期的に広報、ホームページ等で普及啓発記事を掲載することにより、市民の住宅への地震に対する安全性確保への認識を促す。
住宅・建築物土 砂災害対策支 援事業	都市整備課	1,493,042	0	1,493,042	B	土砂災害等有事に備える整備を行うための支援であり、引き続き実施する。	B	対象となる住宅・建築物を所有する住民への啓発する手法を検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公園、緑地の保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	引き続き、適正な維持管理のもと安心安全な公園の環境整備に努める。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	公園施設維持管理事業								



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公営住宅などの適切な管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	入居率は減少傾向にあるものの、7割以上確保され、概ね市民サービスに有効に供されている。また、施設が老朽化しているため、有効な維持修繕を図りコストの抑制に努めている。			
			担当部	建設農林部					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	住環境整備費事務経費、再開発住宅管理事業、公営住宅維持管理事業、コミュニティ住宅管理事業、定住促進住宅管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③港湾と河川の保全

取り組み事項	港湾の維持管理及び活用を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	異常高潮等による浸水被害への対応を行いつつ、港湾の多彩な空間を利用し、住民の海辺の憩いの場とする。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
海岸美化対策 事業(建設管 理)	建設管理課	1,427,721	30,000	1,457,721	B	今後も関係団体や企業と連携を密にし、港湾の美化を引き 続き実施する。	B	海に関係する団体や企業、ボランティアの方々が参加する ことにより、物理的なゴミの除去効果だけでなく、ふるさと相 生の海に愛着と関心を持つようになると考える。
構成事務事業名 (評価対象外)	港湾管理事業、ポンプ場管理事業、海岸美化対策事業(都市整備)、港湾整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	河川の保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	美化意識の向上、自治会組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
河川愛護事業	建設管理課	1,455,886	297,640	1,753,526	B	今後も実施団体と連携を密にし、地域住民参加型での河川の清掃管理を進める。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた自治会が活動ができないことがあった。通常、各自治会の年間行事で予定していることから、今後は開催方法を工夫しつつ活動が再開されると見込んでいる。
構成事務事業名 (評価対象外)	河川等改修事業、河川管理事業、ポンプ場管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 地域生産力の向上を目指すまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

① 農林水産業の持続的発展

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に依存した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
数量調整円滑化推進事業	農林水産課	3,257,546	61,944	3,319,490	B	水稻及び麦・大豆等の生産を引き続き支援する。	E	県事業の終了に伴い終了とする。
夢ある農村づくり推進事業	農林水産課	3,800,471	2,016,900	5,817,371	B	特産品の安定生産のため、引き続き支援を行う。	B	農業振興のため、細やかな支援ができるよう、ニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き行っていく。
上松農業共同作業所管理事業	農林水産課	203,596	0	203,596	B	指定管理者と連携し施設を維持する。	B	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
中山間地域等直接支払事業	農林水産課	1,357,311	2,781,512	4,138,823	B	中山間地域の農業を引き続き支援する。	B	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状である。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に依存した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
ふるさと交流館 管理事業	農林水産課	542,924	9,971,569	10,514,493	B	指定管理者と連携し、利用者増を図る。	B	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。	
有害鳥獣対策 事業	農林水産課	2,714,622	7,634,240	10,348,862	B	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。	B	農作物の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。	
構成事務事業名 (評価対象外)	農業金融制度利子補給事業、土地改良事業、農業委員会費事務経費、農業総務費事務経費、農業振興等奨励事業、ふれあい公園管理事業、環境保全型農業直接支払事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	森林整備及び保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	施設が老朽化しているため、指定管理者と連携し、健全な運営を図る必要がある。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
林業振興事業	農林水産課	1,642,855	8,693,700	10,336,555	B	林業従事者や技術者が減少してきているため、技術を継承する機会を提供する必要がある。	B	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
羅漢の里管理 事業	農林水産課	1,060,229	10,443,284	11,503,513	B	指定管理者と連携し、健全な運営を図る。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数でのコテージの利用者が減少している。そのため、感染症対策を行いながら、PR等普及啓発を行い、利用者の増加につなげていきたい。
構成事務事業名 (評価対象外)	遊歩道整備事業、林道維持修繕事業、森林環境基金事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	水産業の振興を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	相生牡蠣の生産振興を中心とした事業構成であるが、6次産業化の推進など、他の施策と合わせ複合的に推進していく必要がある。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
水産業振興事業	農林水産課	339,327	1,000,000	1,339,327	B	引き続き終期を定めた牡蠣生産施設等への補助金の交付を行うなどし、生産・育成支援を実施する。	B	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。
水産物市場管理事業	農林水産課	407,193	30,362,936	30,770,129	B	指定管理者と連携し効率的な施設運営を行う	C	施設の必要性も含め、市全体で施設の在り方を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	水産業振興費事務経費、漁船保険補助事業、漁業近代化資金利子補給事業、漁業金融制度利子補給事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

6 まちづくりを進める土台を強化する  
 (1) 安定した持続可能な行政経営  
 ① 定住の促進と関係人口の拡大

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	シティプロモーションについては、時代に即したPR手法や効果検証方法について研究しながら引き続き効果的なPRを実施していく。また、より効果的に市政情報を市内外へ発信するため、情報収集手段の多様化を踏まえた手法等を研究していく。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市定住促進PR事業	定住促進室	2,589,072	7,772,762	10,361,834	C	定住を促すためには認知度の向上は必須であり、手法も費用対効果を検証しながら行う必要がある。	C	時代に即したPR手法や、効果検証方法について研究しながら事業を継続していく。
相生市定住・移住相談事業	定住促進室	1,699,183	27,450	1,726,633	C	相談体制、メニューについてある程度のスキームはできている。 引き続き、利用者の求める仕組みづくりに取り組む。	C	オンライン相談を取り入れるなど、相談メニューを豊富にすることで、移住希望者が相談しやすい体制が整い始めた。今後は閉庁時でも相談・質問に回答できる仕組みづくりが必要と考える。
シティプロモーション事業	企画広報課	2,035,966	103,264	2,139,230	C	認知度の向上は必須であり、手法も費用対効果を検証しながら行う必要がある。	C	時代に即したPR手法や、効果検証方法について研究しながら事業を継続していく。
広報事業	企画広報課	5,708,177	6,374,821	12,082,998	B	まちかど出前講座について、引き続き魅力あるメニューの検討及びPRを行うことで、市政への関心を高めるとともに、広報紙により市の魅力を発信し、本市への愛着と誇りを醸成する。	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、まちかど出前講座の申込み団体が減少したが、引き続き、講座メニューの見直しと事業のPRを行うことで、市政への関心を高めるとともに、広報紙により市の魅力を発信し、本市への愛着と誇りを醸成する。



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	シティプロモーションについては、時代に即したPR手法や効果検証方法について研究しながら引き続き効果的なPRを実施していく。また、より効果的に市政情報を市内外へ発信するため、情報収集手段の多様化を踏まえた手法等を研究していく。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ホームページ 整備事業	企画広報課	3,053,950	2,077,680	5,131,630	B	情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。	B	インターネットの普及等により、アクセス数も増加しており、情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項			施策の総合評価	C	課題 方向性			
	ふれあいのあるまちづくりを推進する		担当部	企画総務部		コロナ禍において、なお一層の絆づくりが必要であり、ウィズコロナ・ポストコロナのいて、知恵と工夫により、本市に対する愛着と絆を強める事業を展開し、本市に住み続けたいと思う人を増やすことで、転出者を抑制していく。		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市民さわやかあいさつ運動事業	企画広報課	135,731	983,400	1,119,131	B	ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、本市への愛着と絆を強めるため、引き続き実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、あいさつ運動キャンペーンが中止となり事業が縮小してしまった。そのため、広く啓発できる効率的効果的な手法の検討する必要があるものの、あいさつ運動を継続していき、市民の住みよさの実感を高め、本市への愛着と絆を醸成していく。
国際交流事業	企画広報課	3,664,740	250,000	3,914,740	B	引き続き、市民の国際理解の促進、外国人の生活環境の向上を図り、住みやすいまちづくりにつなげる。	B	社会のグローバル化が進む中、国際交流に取り組む意義は大きいと考える。引き続き、国際交流事業を行うことで、市民の国際理解の促進、外国人の生活環境の向上を図り、住みやすいまちづくりにつなげる。
隣保館活動事業	総務課	4,397,706	1,081,738	5,479,444	B	周辺地域住民との人権交流の場の提供や相談の実施を継続していくことにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	利用者の高齢化、固定化といった課題はあるものの、住民の生活相談や人権交流の場として周辺地域住民等との交流の場として必要な活動である。また、インターネット上への書き込み等新たな課題もあり、モニタリングの実施等により同和問題の解決に取り組んでいく必要がある。
非核平和展事業	総務課	1,357,311	25,868	1,383,179	B	原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を提供することによりふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	社会情勢に応じて事業内容は年度によって異なるが、毎年開催することで、原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を作る。
構成事務事業名 (評価対象外)	地域改善対策事業、隣保館管理運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	前年度と比較して転入者は増加したものの、新婚世帯家賃補助の利用者が減少してきている。 翌年度以降、新婚世帯家賃補助がより効果的な事業となるように、他の定住補助事業も含め、見直しを検討する。また、お試し移住事業を拡大することで更なる転入者の拡大を図る。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
企業立地促進事業	企画広報課	1,221,580	1,981,000	3,202,580	B	引き続き、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。	B	企業のニーズに合った用地が少なく、新たな進出には結びついていないが、引き続き、助成制度等を整備しておくことにより、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。
ふるさと応援事業	企画広報課	5,225,648	127,510,680	132,736,328	A	寄附の拡大は、本市に関心を持つ者の増加につながり、ひいては、関係人口・定住人口の増加につながるきっかけとなるものとする。今後は寄附の更なる増加を目指し、引き続き返礼品の開発や事業者の新規開拓に努めるとともに、新たな取り組みを企画・検討していく。	A	寄附件数の増加は関係人口の増加につながるものである。引き続き多くの人に相生市に関心を持ってもらうため、さらなる返礼品の開発や事業者の新規開拓を行う。また、ふるさと応援寄附により地元特産品の知名度を向上させることは、関係人口の創出のきっかけにもなりうるため、新たな取り組みを企画・検討していく。
新婚世帯家賃等補助金交付事業	定住促進室	1,299,626	12,500,000	13,799,626	C	本事業は相生市に住むきっかけのひとつになっている一方で、転入者を定着させるための見直しも必要であると考えられる。	C	交付終了者を対象とした追跡調査では、本事業が相生市に住むきっかけのひとつになっている。一方で、交付期間3年間のうち、市外へ転出も一定数見られることから、転入者を定着させるための改善も必要である。
住宅取得奨励金交付事業	定住促進室	1,028,164	9,750,000	10,778,164	C	制度に関しては継続の必要性があると考えられるが、補助対象の見直しなど、他の補助制度と合わせて検討する。	C	制度内容については現状のまま継続で考えている。現在は新築物件のみを補助対象としているが、中古物件についても問合せもあることから、他の補助制度と合わせて、補助対象についての見直しを検討する。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	前年度と比較して転入者は増加したものの、新婚世帯家賃補助の利用者が減少してきている。翌年度以降、新婚世帯家賃補助がより効果的な事業となるように、他の定住補助事業も含め、見直しを検討する。また、お試し移住事業を拡大することで更なる転入者の拡大を図る。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
あいおい暮らし お試し移住事業	定住促進室	3,468,778	2,783,557	6,252,335	A	お試し住宅を通じてまちの魅力や雰囲気を知ってもらい、実際の移住へ結び付けていくため、利用期間や実施体制について見直ししながら事業を継続する。	C	移住希望者に対し、お試し移住を通じてまちの魅力や雰囲気を知ってもらい、実際の移住へ結び付けていくため、利用期間や実施体制について見直ししながら事業を継続する。
構成事務事業名 (評価対象外)	あいおいアクアポリス事業、定住者住宅取得奨励金交付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②社会の変化に対応する組織と体制の充実

取り組み事項	行政改革を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	行政評価制度により、庁内全体での事業の優先度を決め、予算へ反映する仕組みを検討する。また、社会の変化に対応した行政改革を推進し、質の高い行政サービスにつなげる。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
教育特区事業	企画広報課	1,764,504	38,500	1,803,004	B	特区制度に基づく学校設置に関して、一定の成果があるものとする。また、学校運営に関しても効率的に実施できているものとする。	B	特区制度を活用して、学校が設置され一定の成果を挙げている。また、学校運営は民間、学校の評価については、学校設置審議会を活用と役割が明確化されており効率的に実施できている。
行政評価システム推進事業	企画広報課	3,325,412	15,968,440	19,293,852	C	評価体制について見直しを図りながら、よりよい事業への改善を図れるような仕組みづくりを継続する。	C	新たな総合計画の開始に伴い、評価体制についても見直しを図りながら、評価することでよりよい事業への改善を図れるような仕組みづくりを研究しながら、継続する。
行政改革事業	企画広報課	1,289,445	46,100	1,335,545	C	行革推進委員会の運営手法等について検討を進め、引き続き、行政改革事業を推進していくべきと考える。	C	委員の募集方法・開催方法についてもさらに検討を進めた上で、引き続き、行政改革事業を推進していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	総合計画策定事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	職員の資質向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	研修計画に基づき、役職に応じた階層や経験年数等に合わせた研修体系により、計画的に研修を実施した。派遣研修では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインによる開催の研修もあったが、計画していた各研修に職員を派遣することができた。また、相生市人材育成基本方針に基づき、社会情勢の変化に対応する人材を育成するため、庁内の管理・監督職から委員を選定した研修委員会を開催し、高い研修効果を得られるよう、各研修の内容について検討・見直しを図った。結果として、受講対象者に対して、適正に研修を実施し、研修後の受講者の理解度・達成度も高く、施策成果指標において、概ね目標を達成できた。今後については、更なる職員の資質を向上し、社会情勢の変化や市民ニーズに沿った内容となるよう、研修委員会や、受講アンケート結果を活用し、研修メニュー、研修機関等の検討・見直しを常に行い、研修の効果を高めていく。					
			担当部	企画総務部							
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価			
					方向性	所見		方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	情報公開・個人情報保護等事業、農業総務費人件費、職員研修事業、遺族年金事業、文書事務管理事業、福利厚生事業、労務管理事業										

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	電子自治体の推進		施策の総合評価	B	課題 方向性	スマートフォン等を利用して、いつでもどこでも行政手続きができる取組みや、窓口においても待ち時間の短縮や、書面手続きの負担軽減に向けた取組みを進める。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高度無線環境 整備推進事業	企画広報課	542,924	0	542,924	E	事業目的を達成したため。	E	令和4年1月31日付け実施事業者の完了報告をもって事業目的を達成したため。
構成事務事業名 (評価対象外)	基幹系システム管理運営事業、情報系システム管理運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域行政を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	複雑多様化する社会の変化に迅速に対応するため、また、広域的な行政需要に対応するため、引き続き、広域的なネットワークを維持するとともに、新たな課題に対して、広域的に対応し、持続可能で十分な市民サービスを提供できる組織を目指す。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	西はりま消防組合事業、特定用地管理委託事業、安室ダム水道用水供給事業、西播磨水道企業団事業、広域行政事業								



施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③安定した行政経営基盤の確立

取り組み事項	健全な財政運営を行う		施策の総合評価	A	課題 方向性	令和7年度までの5か年計画である第4期行財政健全化計画に基づき、少子高齢化による社会保障費や公共施設の老朽化に伴う更新経費等の増加への対応や、近年全国で頻発している大規模災害への備えも必要となり、将来にわたり必要な行政サービスを安定して提供していくため、引き続き行財政健全化を進め、堅実で持続可能な財政運営に努める。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	財政調整基金事業、減債基金事業、庁舎建設基金事業、市民病院事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公有財産の活用と管理を推進する		施策の総合評価	D	課題 方向性	売却可能地については、広報やHPで周知しているが売却に繋がらないため、未利用市有地(売却可能地)の民間による活用提案を検討・実施する必要がある。 また、市として市有財産の把握を行った上で、利活用に関する基本方針や計画を作成する必要がある。		
			担当部	財務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市有財産管理 事業	財政課	8,279,598	159,174,727	167,454,325	C	市有財産の有効活用施策の検討を進め、計画的な維持保全が必要である	C	市として、市有財産の利活用に係る方針等を策定し、利活用できる普通財産の把握・整理の上、計画的に活用・処分していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	庁舎管理事業(管財)、公用車両管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公平な課税と納税意識の高揚を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	システムを有効活用して課税調査を行った。預金調査システム等を活用して積極的な滞納整理を進めた。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	国民健康保険事業(徴収)、税務総務費事務経費、賦課徴収費事務経費(市民税等)、賦課徴収費事務経費(固定資産税)、賦課徴収費事務経費(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している  
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小  
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④その他

取り組み事項	その他		施策の総合評価	課題 方向性				
			担当部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
構成事務事業名 (評価対象外)	国民年金事業、一般管理費事務経費(財政)、一般管理費事務経費(秘書)、財産管理費事務経費、企画費事務経費、事故等賠償事業、公債費元金償還事業、公債費利子償還事業、予備費、職員退職手当基金事業、統計調査事務事業、工業統計調査事業、経済センサス事業、厚生労働統計調査事業(市民)、戸籍住民基本台帳等事務事業、議会費事務経費、議会活動事業、会議録作成事業、議会報作成事業、選挙管理委員会費事務経費、市長選挙執行事業、監査委員事務事業、公平委員会費事務経費、一般管理費事務経費(出納)、会計管理事業、国勢調査事業、農林業センサス事業、固定資産評価審査委員会事務経費、市議会インターネット配信事業、県補助金等返還事業、国庫補助金等返還事業、衆議院議員選挙及び最高裁国民審査執行事業、知事選挙執行事業、県議会議員選挙執行事業、参議院議員通常選挙執行事業、市議会議員選挙執行事業、一般管理費事務経費(総務)、市税等過誤納金還付事務事業、諸費事務経費(総務課)、庁舎管理事業(総務)、各種料金返還事業							